

当期の業績について

当連結会計年度の連結売上高は53,346百万円となり、前年同期比で10.7%の増加となりました。利益額につきましても、営業利益は9,833百万円(前年同期比24.0%増)、経常利益は10,101百万円(前年同期比27.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6,382百万円(前年同期比24.6%増)とそれぞれ増加しており、9期連続の増収、8期連続の増益となりました。

モバイルスペースのレンタルについては、大型物件や土木現場を中心に新規現場開拓に積極的に取り組みました。また、東京オリンピックの様々な会場における大会本部やメディアルームといった各種施設や、新型コロナウイルス感染対策のための医療関連施設など、大型案件の受注が増加いたしました。これにより、出荷棟数・稼働棟数ともに堅調に推移し、売上高は前年同期比11.5%増となりました。

モバイルスペースの販売については、引き続き店舗網の整備に注力しております。新規店舗を7店舗開設したことに加えて、既存店舗11店舗をリニューアルオープン致しました。中でも福岡市や小牧市など全国に5店舗オープンした、本建築製品を中心に展示販売を行う総合展示場は、従来店舗と比較してお客様のご来場者数が大幅に増加しております。ホームページの問い合わせ数も前年を大きく上回って推移しており、新たな顧客層の開拓につながっております。その結果、施工事例に示すような様々な用途の受注に繋がり、売上高は前年を上回り、前年同期比9.6%増となりました。

不動産賃貸事業についても着実に店舗を増やし、事業を拡大しております。トランクルームについては前期末より4店舗増加、レンタルスペースについては14店舗増加いたしました。トランクルームのルーム稼働率も一定水準を維持しており、売上高は前年同期に比べ4.9%増となっております。

上記のように、レンタル資産や展示場等の店舗設備を中心



飲食販売店



飲食販売店 内観



社会福祉法人事務所



事業所 内観

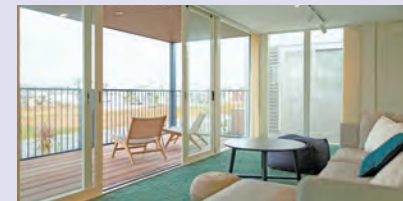
に継続的に投資をしております。投資額は9,416百万円となっており、総資産額は前連結会計年度末に比べ5,288百万円増加し、69,617百万円となりました。純資産額は前連結会計年度に比べ4,180百万円増加して43,756百万円となり、自己資本比率は62.9%となっております。

キャッシュ・フローについては、前連結会計年度に比べて現金及び現金同等物(資金)が2,472百万円増加致しました。主な要因は営業活動により獲得した資金8,564百万円であり、安定した状態を保っております。

今後とも、ユニットハウスの特長を活かしたニーズの開拓と、快適性や機能性を向上させる新製品開発、製品改良を行うとともに、事業開発に取り組み、業績向上に努めてまいります。

レンタルスペース 53期14店舗出店

ライフスタイルの多様化による空間ニーズの高まりを背景に、モバイルスペース展示場の展示品を「レンタルスペース」として貸し出しするサービスを行っております。51期4月からレンタルスペースビジネスを開始し、53期は14店舗出店、計18店舗までネットワークを拡大してまいりました。レンタルスペースはコロナ禍に伴う、テレワーク需要などの後押しもあり、着実にご利用者数が増加しております。カルチャー教室を始めとして、撮影スタジオ、物品販売店



木更津総合展示場 テラス



茶屋ヶ坂店 フラワーアレンジメント教室



つくば店 焼き菓子販売



公共施設



保育園 内観

舗など、個人から法人の方まで幅広い用途でご利用いただいております。ご利用者様からは「将来自分のお店を持つときにはモバイルスペースの購入を検討したい」などのご感想をいただき、事業間の相乗効果も徐々に生まれつつあります。

今後もモバイルスペースならではの多彩でフレキシブルな空間サービスをご提供することで、みなさまの心豊かな暮らしに貢献してまいります。